

東海道本線 石山～瀬田間 ちょう架線・トロリ線断線のメカニズム (推定)

【ちょう架線の断線】

エアセクション箇所
(電源系統が異なり電位差がある)

ちょう架線A

トロリ線A

導電性の介在物

ちょう架線B

トロリ線B

溶断

素線

溶断

延性破断

延性破断

〔姿図〕

〔断面図〕

【断線したちょう架線の状態】

ちょう架線Aとちょう架線Bの間を導電性の物がまたぐように介在

ちょう架線Bの素線4本が溶断し、3本が延性破断する形で切れる

断線したちょう架線Bを電車のパンタグラフが巻き込み

先に断線したちょう架線Bとの衝撃によりトロリ線Aが断線

【トロリ線の断線】



【断線したトロリ線の状態】

←大阪・石山方

瀬田・米原方→

ちょう架線A

トロリ線A

ちょう架線B

トロリ線B

